

2021年7月

## 原水爆禁止 2021年世界大会・広島に向けて

東部分会 大石尚美

原水爆禁止世界大会 2021年・広島大会へ渋谷支部から派遣させていただくことになりました。

私は戦争を知らない世代ですが、私たちの親世代は、第二次世界大戦の戦時中に、生まれ育ちました。1945年、日本へ原子爆弾が投下された時、私の母は3才でした。母の記憶では、当時、防空壕のような穴の中に家族と逃げ込み、過ごす日々もあったと言っていました。今の日本では全く想像もつかないのですが、現実として実際にあったのだと思うと恐ろしい気持ちと共に心が痛くなり、言葉では言い表せない憤りも込み上げてきます。

毎年8月になるとまって戦争や原爆にまつわる映画やドキュメンタリーパン組などがテレビで放送されていましたが、「はだしのゲン」や「火垂るの墓」は、私にとって記憶から消えない作品です。

今11才の娘が小学3年生の時には、担任の先生の祖父にあたる方が、語り部として戦時中の体験を話に来てくれたことがあるそうです。何か感じるものがあったようで、興味深い話だったと感想を聞かせてくれました。

気になることは、コロナ禍以前からですが、戦争や原爆の話をあまり耳にしなくなった、取り上げられなくなったことです。これからもずっと次の世代へと語り繋いで行かなければならぬ重要なことだと声をあげて行くべきだと思います。唯一被災した日本だけではなく全世界の為にも。

原爆投下から76年、私は広島へ行くことも原爆ドームを見ることも今回が初めてですが、広島大会では、娘と一緒に、頭で解っている知識だけではなく、実際に自分の目で見て、聞いて、しっかりと感じてきたいと思います。



